

経営学専攻大学院 内部進学説明会

博士課程前期
2024年度入試



YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA National University
Initiative for Global Arts & Sciences

説明会概要

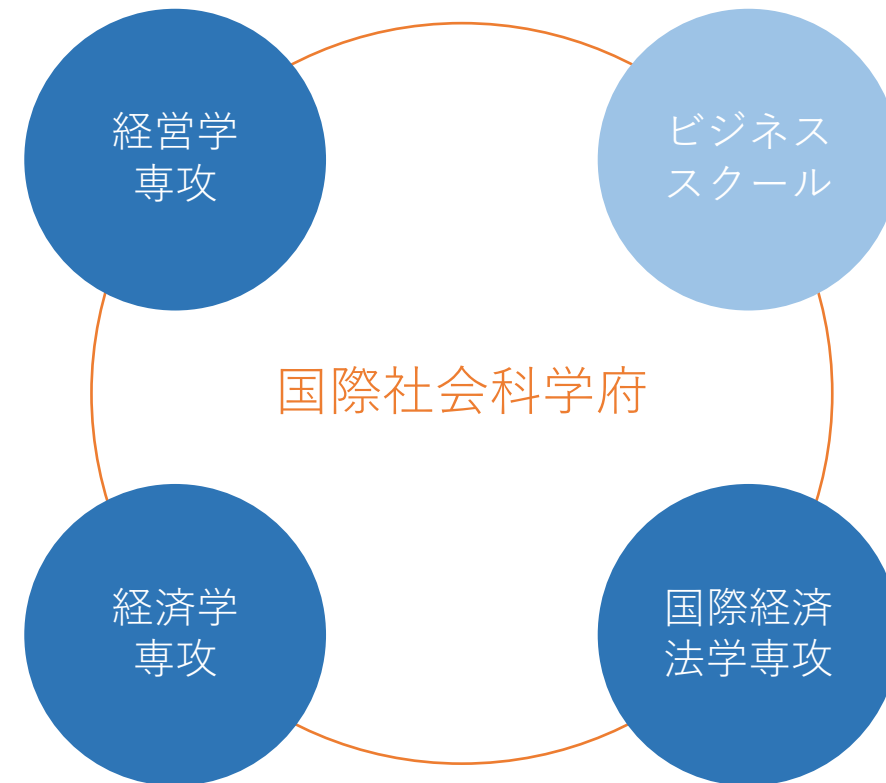
国際社会科学府経営学専攻博士課程前期

1. 国際社会科学府博士課程前期
2. 経営学専攻
3. カリキュラム
4. 入学試験
5. 学部・修士5年一貫教育プログラム
6. 修了生の進路

1. 国際社会科学府博士課程前期

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期

国際社会科学府は、博士課程前期・後期一貫型の、経済学、経営学、国際経済法学の3専攻から成り立っています。ビジネススクールや専攻横断教育プログラム、英語による教育プログラムも含め、国際性ある実践的教育を強化し、グローバル新時代に求められる人材を養成します。



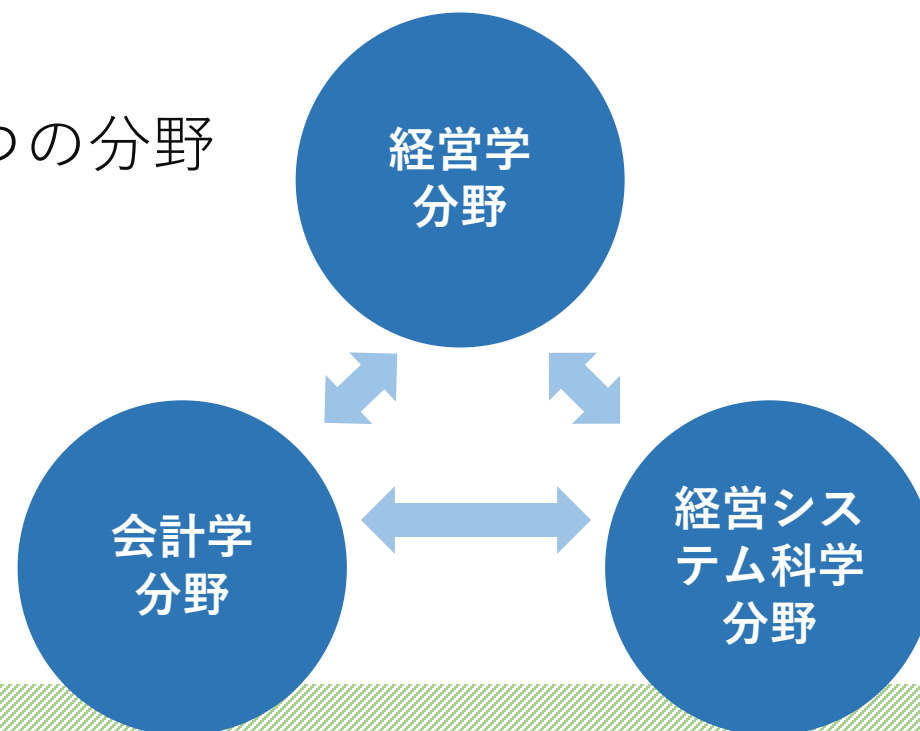
2. 経営学専攻

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期

■目的

グローバル・レベルで通用する経営学とその関連領域に精通し、ビジネスシーンでの問題解決能力を有する、国際的に活躍できる実践的スペシャリストの養成

■経営学専攻における3つの分野



3-1. カリキュラム | 授業科目

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期

■ コア科目

戦略経営、組織マネジメント、国際経営、財務会計、管理会計、経営科学、計量分析

■ 経営学分野

産業分析、産業・組織心理学、人的資源管理、経営史、金融システム、比較経営、比較社会文化、
グローバル・イノベーション・マネジメント、企業と社会

■ 会計学分野

簿記原理、会計監査、公会計、税務会計、原価会計、生態会計、国際会計

■ 経営システム科学分野

オペレーションズ・マネジメント、経営シミュレーション、経営財務、マーケティング

■ 学府共通科目

Thesis Writing、Presentation and Discussion Skills

3-2. カリキュラム | 修了要件

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期

■原則 2 年以上の在学

■必要な単位数

講義（特論）：12科目24単位以上

・コア科目：2科目4単位以上

・その他の科目：ビジネススクールの科目などを一部履修することが可能

研究指導（演習）：8単位

■GPA（Grade Point Average）が2.0以上

■修士論文提出 + 修士論文最終試験

$$\text{GPA} = \frac{\Sigma(\text{GP} \times \text{単位数})}{\text{履修登録単位数}}$$

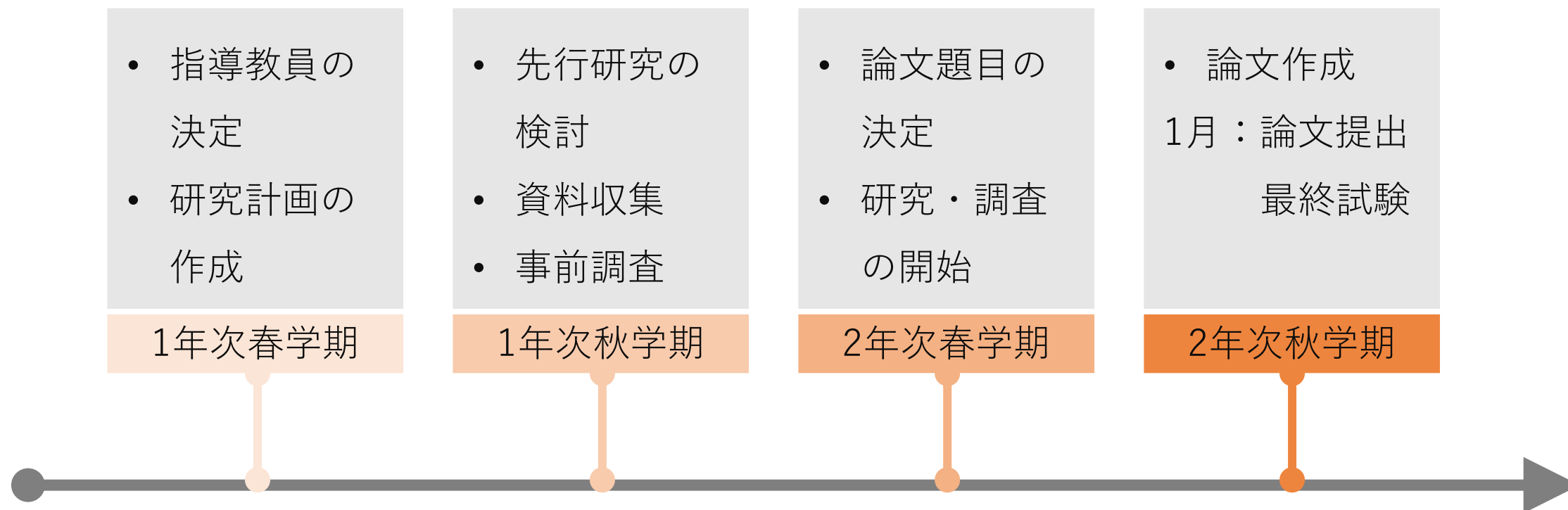
3-3. カリキュラム | 博士論文研究基礎力審査コース

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期

- 博士論文研究基礎力審査コース（QE）とは
修士論文審査に代えて、博士論文研究基礎力審査の合格により博士課程前期を修了することができる。
- 目的
博士課程の前期と後期の一貫性を高め、社会ニーズに対応した専門的能力を養う。
- 博士論文研究基礎力審査コースの選択
 - ・ 前期課程入学時に博士論文研究基礎力審査コースを選択し、所定の条件（修得単位数や履修科目等）をクリアした場合に適用。
 - ・ 博士論文研究基礎力審査の内容については、研究計画等を踏まえ指導教員と綿密な協議の上、決定される。

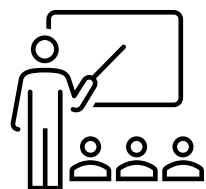
3-4. カリキュラム | 修士論文作成のプロセス

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期



4-1. 入学試験 | 経営学専攻博士課程前期

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期



定員 38名

- 第1次選抜（筆記）
論文試験（6題のうち
2題選択）
- 第2次選抜
口述試験



定員 若干名

- 第1次選抜（書類審査）
- 第2次選抜
口述試験



定員 若干名

- 第1次選抜（書類審査）
- 第2次選抜
口述試験（実務経験を重視）



定員 若干名

- 書類審査
- 口述試験

YNU 在学生向け

TOEFL-iBTの成績証明書の提出が必要

4-2. 入学試験 | 博士課程前期 内部進学試験

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期

■ 学部（学士課程）から博士課程前期（修士課程）への**内部進学試験**

- ・ 4年次の夏頃

■ ・ 出願資格：

本学学士課程（全学部対象）に出願時点で在籍しており、**翌年3月卒業見込み**の者
3年次終了時点の**累積GPAが3.1以上**であり、かつ同時点での**修得単位数**が原則として
100単位以上の者
指導教員が推薦する者

- ・ 口述試験

卒業論文執筆状況報告書（卒業研究実施状況報告書）

前期課程（修士課程）での研究計画

4-3. 入学試験 | コンプリヘンシブ・エグザミネーション

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期

■博士課程前期（修士課程）から博士課程後期（博士課程）への**内部進学試験**

- ・ 2 年次秋学期初め頃（例年 1 0 月実施）

- ・ 口述試験

修士論文の中間報告

後期課程（博士課程）での研究計画

- ・ 例年 3 ～ 4 名程度が進学

5-1. 学部・修士5年一貫教育プログラム

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期

■学部・修士5年一貫教育プログラムとは？

- ・通常6年（学部4年、修士2年）かかるところを、**最短5年間での修了**を可能にするプログラム
- ・**学士（経営学）**と**修士（経営学）**の双方の学位を取得することができる。

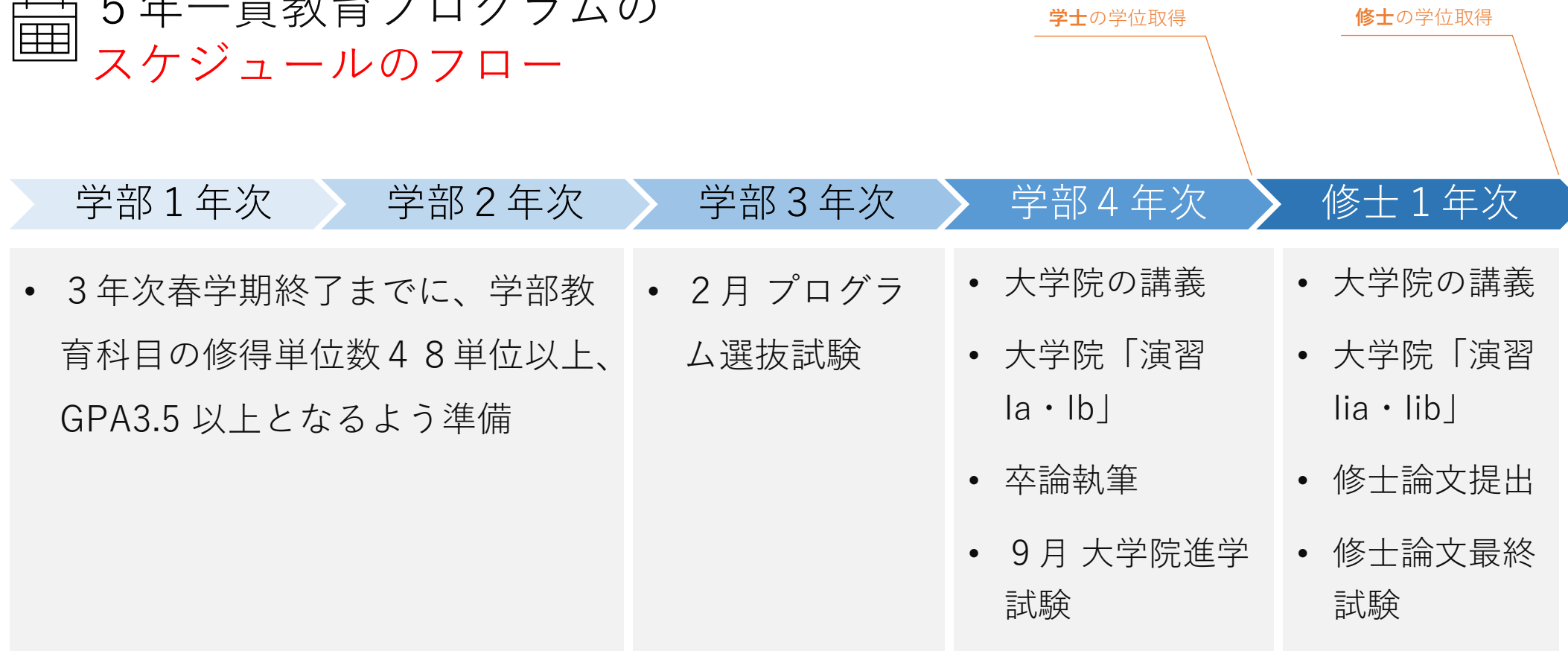
■このプログラムのイメージ

- ・学部4年次：上限26単位まで大学院の科目を受講
- ・この単位は大学院進学時に認定される（ただし学部の卒業要件に含めなかった場合）
- ・大学院の「演習Ⅰa・b」も履修
- ・前期（修士）1年次：
大学院の講義＋「演習Ⅱa・b」（合計32単位以上修得）＋修士論文提出＋修士論文最終試験合格

5-2. 学部・修士5年一貫教育プログラム

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期

📅 5年一貫教育プログラムの スケジュールのフロー



5-3. 学部・修士5年一貫教育プログラム

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期

5年一貫教育プログラム への参加方法

	学部3年次を対象に 5年一貫教育プログラム選抜試験	学部4年次を対象に大学院 内部進学試験
時期	3年次の2月ころ	4年次の9月ころ
選抜人数	若干名	若干名
出願要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学経営学部の3年次であること ・ 学部教育科目の修得単位数が48単位以上（3年次春学期終了時） ・ GPA 3.5以上（3年次春学期終了時） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本学学士課程に出願時点で在籍しており3月卒業見込みの者 ・ 3年次終了時点の累積GPAが3.1以上であり、かつ同時点での修得単位数が原則として100単位以上の者 ・ 指導教員が推薦する者
出願方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年次春学期までの成績証明書 ・ 研究計画書 ・ 指導教員等の推薦状 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出願時点での成績証明書 ・ 卒業論文執筆状況報告書（卒業研究実施状況報告書） ・ 研究計画書 ・ 指導教員の推薦書
選抜方法	書類選考と口述試験による総合評価	書類選考と口述試験による総合評価

6-1. 修了生の進路 | 過去3年間

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期

- 親和創研合同会社
- 株式会社ガスパル
- 富士通株式会社
- 日本IBM株式会社
- Abeam Counsulting(Shanghai)
- NBKバンテック株式会社
- 日東電工株式会社
- 日本IBMデジタルサービス株式会社
- 北京睿信致成管理顾问有限公司
- Shanghai Songjiang Gas Company Limited
- 博士課程後期へ進学 など

- 富士通(株)
- BAIDU
- 個人事業主
- ニトリ中国
- 富士ソフト (株)
- 株式会社シンク・アイ ホールディングス
- ZMP株式会社
- 日本ユニシス(株)
- EY会計事務所
- (株)日立製作所
- 楽天グループ株式会社
- KPMG天津
- Johnson & Johnson
- 博士課程後期へ進学 など

- 金華銀行
- 東洋貿易有限会社
- 楽天グループ株式会社
- 日本IBM株式会社
- 富士通株式会社
- 青藤教育グループ株式会社
- 日立Astemo
- 三菱自動車工業株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- リコーITソリューションズ
- 寧徳株式会社
- TDI
- 株式会社クオーマ
- 支点教育
- キンドリルジャパン・テクノロジーサービス 株式会社
- 有限責任監査法人トーマツ
- 富士通
- Lesaffre
- キャップジェミニ株式会社
- TIS株式会社
- 日立ソリューションズ
- 博士課程後期へ進学 など

令和2年度修了者

令和3年度修了者

令和4年度修了者

6-2. 修了生の進路 | 企業へ就職した修了生の意見①

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期



日本アイ・ビー・エム株式会社

(2013年3月修了者、佐藤(亮) 研究室出身)

- 所属部署：Global Business Solution
- 業務内容：ITシステム提案、設計・開発
- 学部卒業者との処遇等の違い
 - ・ 処遇は特に変わらないが、大学院修了者は月給で1~2万円プラスされる。
 - ・ 賞与は月給をベースにして計算されるため、その分高くなる。
 - ・ 大学院修了者は学部卒より能力が高いと感じる。そのため、能力主義である当社では有利だと考えている。
- 就職関連
 - ・ 早い時期から就職活動に向けた準備をしよう。
 - ・ 自己分析を十分にしよう。
 - ・ 行動力が必要。
 - ・ 学生時代には英語をしっかりと勉強しておくことが大事。
 - ・ 外資系企業に関心のある方の場合、英語は必須。また、自分の専門に関わる資格を獲得していると有利。

6-3. 修了生の進路 | 企業へ就職した修了生の意見②

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期



株式会社小松製作所

(2016年3月修了者、木村研究室出身)

- 業務内容：輸出信用状、外国為替、決算に関する業務、業務改善等
- 学部卒業者との処遇等の違い
 - ・ 専門的な英語能力が求められているため、学部卒新入社員配属がないチームに配属された。
 - ・ 知的探求心や、問題の発見力が大卒より高く感じる。そのため、マニュアル業務以外の改善業務等が任されることが多い。
 - ・ 能力によって進級することが決められており、早く進級した分早めに給料が上がっていく。
この点、大学院で鍛えてきた院卒のほうが有利といえる。
- 就職関連
 - ・ 将来的になりたい自分をよく考えてから会社選びを行うことが重要。
 - ・ 専門の分野だけではなく、大学院で勉強した経験を活かしてどのような仕事でも幅広く担うことができることをアピールすることが重要。
 - ・ 大学院でのハードな勉強が、必要な知識の修得のほか、折れない「心」を鍛えることにもなったため、その強さをアピールすることができる（院卒だからこそ、できる）。

6-3. 修了生の進路 | 企業へ就職した修了生の意見③

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期



株式会社野村総合研究所

(2023年3月修了者、高橋研究室出身)

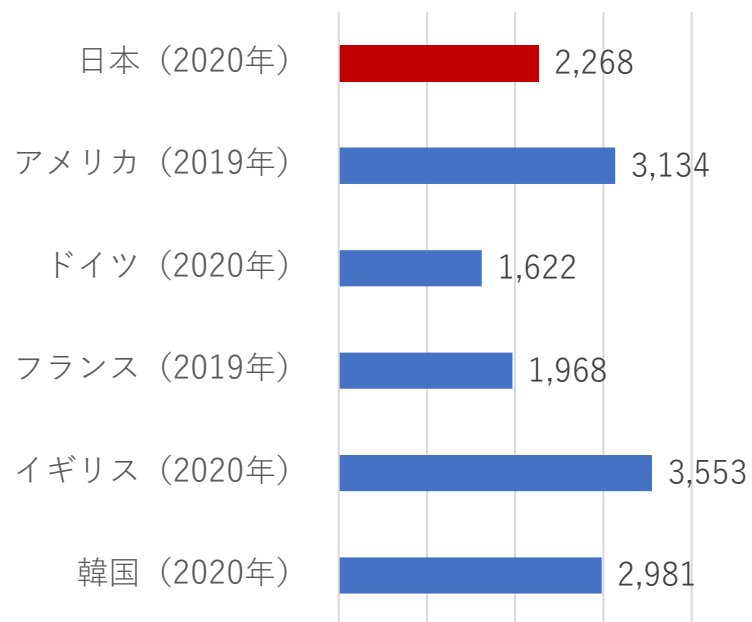
- 業務内容：社内経理業務等
- 学部卒業者との処遇等の違い
 - ・ 月給は学部卒より1万円～2万円高い。
 - ・ 初の昇格のタイミングが早いため基本給・賞与が上がるタイミングも早い。
- 就職関連
 - ・ 文系院卒は不利という話を聞いており不安だったがそのようなことは全くなかった。
 - ・ 論理的思考力は大学院で鍛えられ、就活ではそこを評価してもらえたと感じている。
 - ・ 大学院の研究は就活のアピールにもつながる（計画性、問題意識、課題解決力）。
 - ・ 文系院卒は珍しいため興味を持ってもらえる。ただし大学院への進学理由、研究の内容は明確に答えられるようにすべき。
 - ・ 自分の専門性を客観的に証明するために資格は持っておいた方がよい。

人口100万人あたりの学位取得者数の国際比較（人文・社会科学）

学士号

(人/100万人)

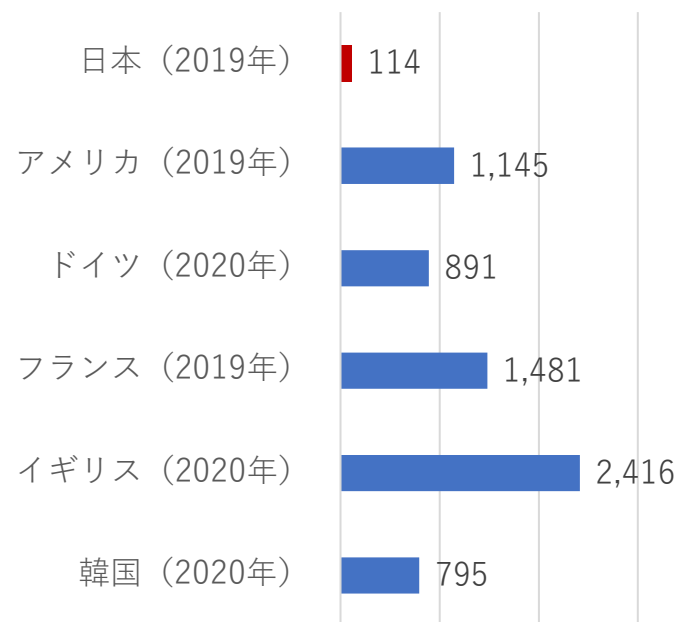
0 1,000 2,000 3,000 4,000



修士号

(人/100万人)

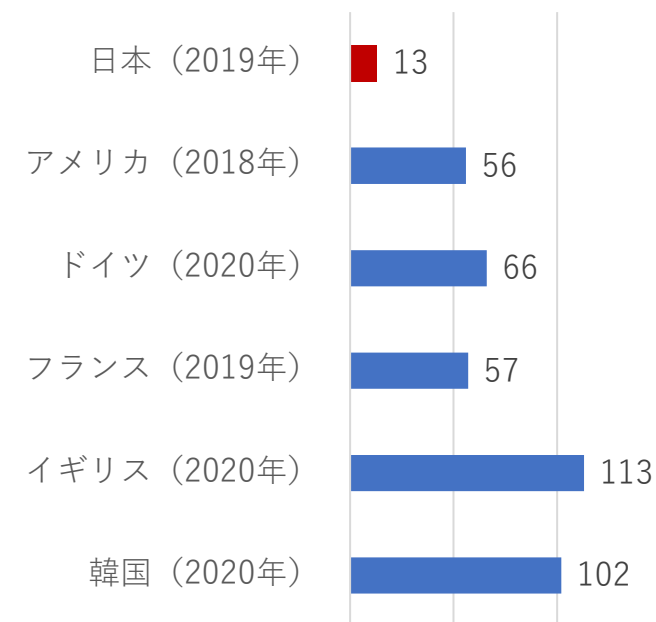
0 1,000 2,000 3,000



博士号

(人/100万人)

0 50 100 150



(出典)文部科学省 科学技術・学術政策研究所、「科学技術指標2022」を基に、横浜国立大学経営学部入試・広報委員会が加工・作成。

おわりに

国際社会科学府経営学専攻博士課程前期

是非、本学経営学専攻の博士課程前期への進学も
選択肢のひとつとしてお考えください！



お問い合わせ

横浜国立大学 社会科学系事務部 大学院学務係

電話 045-339-3684 E-mail int.gakumu-all@ynu.ac.jp

URL <https://www.b.ynu.ac.jp/index.html>

募集要項はこちら

